

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ケア・フレンズ	代表者	脇屋 和美	法人・事業所の特徴	経営理念、「年をとっても障害をもっても自分の望む場所で自分らしく生き続けたい」を念頭におき、本人、家族が望む形での在宅支援を安心して継続できるように支援しております。本人の想いや願いを叶える支援にも力を入れております。
事業所名	つどいの家・よかったね	管理者	木津 朋泰		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	人	1人	1人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> 自己評価をする事で全職員の認識の違いを理解することができた。特に消極的な意見が多かったことと中堅職員と新人職員の支援の達成度に違いがみられた。 会議の場で意見交換することによって出来ていることに気付く職員がみられた。実際に出来ていることと出来ていないことの見分けがつかない場合もあることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を通して職員一人一人の支援がどうであるかお互いに確認することが出来るので自己評価のツールを通常のミーティングでも活用する。また、出来るだけ多くのスタッフが集まるようにミーティングの日時や場所等も考慮に入れる。 新人職員も多い為に気軽に意見できる環境も同時につくりたいので、新人同士が意見交換できる場を創る。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> 特に改善が必要との意見はなかったが、出席者の方が事業所に立ち寄る機会がなく、環境、しつらえが分からないとの印象を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> まず事業所に立ち寄ってもらう機会作りをする。具体的には事業所の見学やイベントの開催。運営推進委員会時など事業所内の様子も見て頂く。事業所への意見をいただいた時には対策をどのように講じるか運営推進委員会を通じて伝えたい。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型サービスの理解のためにも運営推進委員会の参加者を増やせるように働きかけできないだろうか？ 現在の地域に移転して日が浅いので地域の自治会などの団体や個人とも接点を持てると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 併設される cafe やサロン活動を通して事業所の PR を行なったり、相談窓口として気軽に利用してほしい旨を伝えていく。 また地域の行事、掃除など積極的に参加する。お互いが地域の行事に協力することによって関係性が強まる。 地域の団体、責任者、活動している個人を知ることから始める。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを ささえる取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板等で事業所のイベントを周知したらどうか。 ・地区のパソコン教室への参加や事業所の空きスペースを活用して講座が行われても良さそうだ。 ・デイホームへの参加は、職員と参加されると良い事や住んでいる場所に関係なく受け入れて下さること等の情報を頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のイベントの周知を地域の回覧板や地域の情報発信を活用して行いたい。 ・デイホームは開催場所と日時と担当を事前に確認して利用者と共に出向きたい。 ・事業所の地域にも利用者の居宅周辺にもイベントの開催があり思い出の場所もあると思うのでイベント等の情報の確認と利用者本人からの情報収集を行なっていきたい。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価の改善計画の報告をしていったらどうかという意見を頂いた。改善計画がどのように実行されるかを期待も持って確認したい。 ・地域の困り事や取組を一緒に考えていくことも出来るのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の運営推進会議時に改善計画の実施状況を報告することや、意見を頂いて更に改善点やアイデアを活用していきたい。 ・運営推進委員会に参加して下さる協力者を増やすために、地域で活動しておられる方等に説明と依頼を行ないたい。 また、利用者や利用者家族の参加もないので、その点も考慮に入れて参加の声かけを行ないたい。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での火災時の避難訓練は定期的に行なわれている。しかし、地震や風水害等の災害も今後想定されるので火災以外の訓練の必要もあると思う。 ・今後の訓練の在り方として地域の方と訓練を行ってはどうか。訓練だけでなく、非常時の備蓄を行う等、方針を定めたりしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員会時に防災訓練も同時開催できるように年間計画を立てる。 ・地域の防災訓練への参加や事業所の訓練に地域の方も来ていただいて地域ぐるみの防災訓練を計画したい。まず地域ぐるみで訓練するまでに地域住民の理解の促進に力を入れたい。 ・非常時の備蓄に関しては食料、水、オムツ類を最低3日分出来れば地域の方の為にも余分に備蓄を行ないたい。

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月17日 (14 :00~15:30)			
1. 初期支援(はじめのかかわり)		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	17人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	6	8	3	17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	10	5	2	17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	9	5	3	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	9	5	3	17
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<p>サービス開始時は本人及び家族の意向を十分に聞いてからサービスが始まっている。その点では、まず本人及び家族が必要としていることから把握してサービスを組み立てている。</p> <p>サービス開始時の本人は、まだ事業所や職員の環境になれていないため「なじみの関係」の構築に力を入れている。</p> <p>本人及び家族の不安解消とために送迎や訪問時を活用して不安への対応を行っている。またモニタリング時に十分に不安を話していただけの環境もととのえている。</p>						
できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること				
<p>本人のニーズ等について利用開始前に情報共有できにくい部分がある。夜勤者や休みの職員が情報を十分に共有できるとは言えない。基本的な本人及び家族の意向や目標当面の支援については把握できるが詳細についてはサービスを行っていく中で理解している。</p> <p>職員全員が同程度の情報を共有できるかが課題だ。</p> <p>新たに利用される利用者については近寄りたいたい場合もあり本人との関係構築が遅れる場合がある。(個人差がある)</p>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<p>全職員の情報の共有が大きな課題である。現在使用している申し送りの書面と口頭では詳細の確認ができないために、事前カンファレンスを事業所で行い、話し合われた内容をしばらく確認できるようにしておく。(プライバシーに配慮した場所に)</p> <p>急なサービス利用も多々あるが、なるべく事前に事業所カンファレンスを行いたい。</p>						

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月17日 (14 :00～15:30)			
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	10	5	2	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	11	4	2	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	7	3	17
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	8	2	17
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<p>本人の目標については朝のミーティングで何度も確認を行って現状を振り返っている。概ね目標は理解できていて、その上で当面の「～したい」について各職員が意見を交わしている。「～したい」事が確認できれば日中に時間を問わずにミーティングを行って、すぐに実行できるように努めている。</p> <p>ミーティングを随時行って即、本人の行こうが反映できるように努めている。</p>						
できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること				
<p>ミーティングを活用してどの程度振り返っているかと考えると十分ではないと判断する職員も多かった。ミーティングで課題について話し合われるか解決や有効な対策に結びつけられない場合もあったようだ。</p> <p>また、ミーティングで有効な対策が打ち出せなかった場合にサービスがそのまま継続してしまうので日々の関わりが充実できない場合がある。</p>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<p>ミーティングの適宜開催と、内容について解決できない場合は事業所のカンファレンスや家族も含めた担当者会議の開催等の次の対策を考えられる準備を行ないたい。課題の即時対応を行っていきたい。</p>						

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月17日 (14 :00～15:30)			
3. 日常生活の支援		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	5	9	3	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	10	4	2	17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	8	6	3	17
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	7	7	1	17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	9	8	1	19
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<p>本人の体調や変化には職員が敏感になっており、常に注意を払っている。また気づきがあった場合は、その都度ミーティングを行って情報を整理して共有するように努めている。</p> <p>重度者が多くっており基本的な介護や体調の変化は夜勤者も含めて情報を共有できる様にしている。特に夜勤者への申し送りや夜間の様子等については確実に申し送られるように口頭と書面によって行っている。</p>						
できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること				
<p>本人の以前の暮らしについて把握できていないことがある。利用前の暮らしや更に元気だったころの生活について把握していない点が見られる。</p> <p>本人の声にならない声を言語化することについては実践できる職員とまだ難しさを感じる職員が存在する。ミーティングで利用者の声にならない声に注目が集まらない点も同様だ。</p>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<p>本人からの聞き取りも難しい場合もあるので、家族や地域の方から以前の本人の生活について情報を得たい。また、その情報を基にミーティングを行いたい。</p> <p>ミーティングを通して職員がどのように関わり気づきを得られるかも共有できると思う。それによって本人の声にならない声を拾っていききたい。</p>						

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月24日 (14 :00～15:30)			
4. 地域での暮らしの支援		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	2	7	6	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	4	5	6	17
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	6	7	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	6	9	17
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<p>本人との会話の中で、事業所に居ない間の過ごし方や、介護が必要になるまでの生活スタイルを日々情報収集している。不足部分は、家族が面会に来た時、送迎時、連絡帳等で昔からの生活スタイル等を聞き出す努力はしている。本人と家族の関係性を重要視しており、利用者同様に家族の変化にも対応できるようにつとめている。本人と家族との関係が切れる事がないように事業所からのサービスがいきすぎになっていないかモニタリングで振り返っている。包括からの民生委員名簿で担当の民生委員は把握できるようになっている。</p>						
できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること				
<p>職員全員がこの項目に意識を持って支援にあたっていたり支援を考えていたりはできていないと思う。職員によって偏りがある。資源ファイル等で地域の資源はある程度の把握はできているが、具体的に日常生活上の困り事に活用するにはいたっていない。(個性が強い為、活用するのに困難)また、人的な意味での地域資源については、まだまだ把握していないのが現状。人的な資源はご利用者の生活に大きく影響を与える方もおられるので早急に把握したい。</p>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<p>利用者からの情報収集をセンター方式等活用しながら工夫して行っていく。ご家族から、ご家族しか知りえない情報を教えてもらえるよう良好な関係作りを継続する。</p>						

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月24日 (14 :00～15:30)			
5. 多機能性ある柔軟な支援		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	1	9	7	17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	0	5	6	6	17
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	5	7	3	17
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	6	6	3	17
できている点		200字程度で、できていること、その理由を記入すること				
<p>サービスを展開するにあたって関係事業所の協力のおかげで、より良いミーティングが行えたり助言等も頂いて支援の見直しや評価も考えられる。</p> <p>本人、家族からの訴え、相談などをうけ日々のニーズに合わせ柔軟なサービスは出来ていると思われる。特に身体的な変化には早急に医療機関等につなげることが出来ている。楽しみ目的の外出等には地域資源の環境を利用することが出来ている。例：福井市の広報誌より 心の病気の講演会に参加、アオッサにて高齢者展示会参加、博物館にてネックレス作り、図書館、美術館、西別院、市バス活用、近所のボーラ化粧品店ボランティア、北陸銀行で個展)</p>						
できていない点		200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること				
<p>資源ファイル等で地域の資源は少しは把握はできているが、具体的に日常生活上の困り事に活用するにはいたっていない。(個性が強い為、活用するのに困難)</p> <p>現在の課題だと思っている点は、日々の関わりや記録の中から気づきを得ること。ご利用者やご家族の小さな変化にいかにかが付き、その気づきをどのように支援に活かすか今後考えていきたい。</p> <p>ニーズの把握の点についても、特にその時の本質的なニーズを把握することが困難な場合がある。</p>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<p>地域についてもっと情報収集していきなじみの関係作りを積極的にしていく。運営推進会議により多くの職員が参加できるようにし、地域の情勢を知っていく。日常的な困り事に結びつくような資源を積極的に見つけていき、新たに開拓できるように考えていく。</p>						

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月24日 (14 :00～15:30)			
6. 連携・協働		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	1	1	8	7	17
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	12	3	17
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		1	2	14	17
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	12	7	17
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<p>利用者の状況に合わせて適宜サービス機関と会議を行ない、日常生活に支障がでないように関係機関と討議している。地域包括センターとの会議については地域の課題や職種別の会議等があり管理者や計画作成者が参加出来ている。その他任意で事業所職員同士で課題を持ち寄り会議等を行うことも多数ある。</p> <p>地域交流としては、地区の運動会や祭りなどを見に行ったり、事業所に併設されたまちよかサロンでの活動、よろず茶屋(お菓子作り、体操など)、認知症カフェに参加している。まちよかで地域のかたと一緒に麻雀、カラオケの仲間に入れてもらう事もある。</p>						
できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること				
<p>登録者以外の方との事業所での繋がりは少ない。高齢者や子供が日常的に事業所を訪れることはないイベントや何かしらの仕掛けがなければ事業所の中に来られることはない。地域の方が事業所を理解してくださり慣れてくださるようイベント等の仕掛けを行っているが、まだ効果は出ていない。</p> <p>その他に地域の活動、イベントは日中活動時間に行われていれば参加しているが、それ以外の時間であれば(日曜、夜間に多く)参加すること難しいのが現状。</p>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<p>自治体や地域の活動に参加できるように勤務体制を見直していく。参加できなかったスタッフにも内容をつたえていく。また、地域の方にも事業所にきてもらえるよう、イベント時など案内配布していく。</p>						

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月31日 (14 :00～15:30)			
7. 運営		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか？	1	3	7	3	17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	3	9	3	17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	1	13	3	17
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	4	8	3	17
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<p>事業所ミーティングを毎朝や月に一度設けており事業所としてのありかたについて話し合う時間を一部設けている。小さい意見かもしれないが意見があれば事業運営に反映できるようにしている。大きい事柄でなくても身近で実際的な意見が多くみられる。地域等の関係者からの意見や苦情は大切な意見としてミーティングの議題に挙げている。十分に議論して運営に活かせるように結果を出し意見された方々、関係者に回答できるように努めている。</p>						
できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること				
<p>中には事業所のあり方について意見を出していない旨の意見もあったが、本人が自覚していないだけとも思える職員もあった。事業所のあり方について考える、また意見を言っても良いものかどうか迷う職員もあったようだ。ご利用者及びご家族については全員が意見を言えるかどうかは分からず更に意見の言いやすい事業所である必要がある。地域と協働した取組みについては、目立ったことは行えていない。協働した取組みではなく地域か事業所かどちらかが取組みを行い互いにお客のように参加しているのが現状。</p>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<p>スタッフが自立的に業務の改善、見直しを行なえるようにミーティングのあり方を工夫していきたい。</p>						

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月31日 (14 :00～15:30)			
8. 質を向上するための取組み		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	5	9	2	17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	7	6	17
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	1	14	17
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	3	8	3	17
できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること					
<p>感染症の流行る冬場にノロウイルス対応の研修、認知症に関する研修を事業所内で行った。両方とも利用者に参加して頂き、学びあうことができた。認知症研修に関しては利用者間での相互理解の目的をもち取り組むことができた。</p> <p>職員を対象とした内部研修も行っている。</p> <p>地域連絡会については管内の包括支援センターが主催する会議への参加、または任意で事業所同士が意見交換する集まりへの参加を行っている。参加者は主に管理者、CM参加出来ている。</p> <p>リスクマネジメントについては委員会にて事故報告、ヒヤリハットの検証を行って事故防止につなげている。</p>						
できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること					
<p>研修参加は個人差がみられ多くの研修に参加する職員、研修に余り参加できなかった職員が見られる。研修に参加しやすい体制が必要かもしれない。全体的には参加数は少ないとおもわれる。また研修案内も次々と送られており、どの研修に参加したらよいのか迷うこともあるようで研修案内の整理も必要だと感じた。</p> <p>リスクマネジメント委員会で事故防止策を行っているが同じような事故が続くことがある。対策が不十分なのか原因を考えていきたい。</p>						
次回までの具体的な改善計画	(200字以内)					
内部研修、外部研修共に積極的に参加し、スキルアップにつなげていく。						

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	平成27年 8月31日 (14 :00~15:30)			
9. 人権・プライバシー		メンバー	夜勤宿直者休みの職員以外全員			
◆ 前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人
前回の改善計画						
前回の改善計画に対する取組み結果						
◆ 今回の自己評価の状況						
確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	8	0	0	17
②	虐待は行われていない	17	0	0	0	17
③	プライバシーが守られている	7	7	3	0	17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	0	17	17
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	10	3	2	17
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<p>成年後見制度を活用している方が1名おられる。後见人(身上監護はご家族、財産管理は社会福祉士会)と連携することにより、ご本人の意向が反映できるように努めている。</p> <p>また、いつでも制度活用できるように準備は行なっている。具体的には成年後見制度の知識の習得や申請書類等を事業所に備えている。他には家庭裁判所に注意点を聞いて準備している。</p> <p>緊急性の場合を除き身体拘束はしていない。 静養、就寝場所等についてのプライバシーは守られている。虐待にあたる事は行なっていない。</p>						
できていない点		200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること				
<p>プライバシーにかかわる事は日々のケアの中で多くみられるが、まだ声かけなどに対し配慮がたりない場面も見られる。具体的にはトイレの声掛けなど周囲への配慮も更に気を付けていきたい。また、ご利用者の相談に応じる場合フロア内に適当な場所が少ないので、個人情報等が他社に聞こえないようにも気を付けていきたい。</p> <p>成年後見制度を進めていくにも更に制度の導入についてやご家族の不安な部分への知識の習得などが課題である。</p>						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<p>今のところ虐待や、身体拘束みられないが、常にひとつひとつのケアが虐待や、身体拘束にあたらぬか点検していく。デリケートな場面のケアをする時は特に本人の自尊心を傷つけないようにと、周りへの配慮が出来ているか確認しながらケアを行なっていく。</p>						